

一般国道４１号 大沢野富山南道路  
費用対便益算出資料  
〔様式集〕

様式－１	P 1
様式－２	P 3
様式－３①	P 5
様式－３②	P 7
様式－４	P 1 0
様式－５	P 1 2
参考様式 1	P 1 3
参考様式 2	P 1 5

令和３年 1 1 月  
北陸地方整備局

(再評価)

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道41号 大沢野富山南道路
事業主体	北陸地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

前提条件	指標	指標チェックの根拠
事業の効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 便益が費用を上回っている</li> </ul>	費用便益比 (B/C) = 1.7 (経済的純現在価値 (B-C) = 250億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 7.2%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率</li> <li><input type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される</li> <li><input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される</li> <li><input type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する</li> <li><input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる</li> <li><input type="checkbox"/> 拠点空港 (余社管理空港、特定地方管理空港)、地方管理空港へのアクセス向上が見込まれる</li> </ul>	<p>区間a(費用便益分析対象区間)について                      渋滞損失時間(整備なし):1,267万人時間/年                      渋滞損失削減時間:86万人時間/年(1,267万人時間/年 → 1,181万人時間/年)</p> <p>区間b(当該区間/並行区間)について(富山市榑原～粟山)                      並行区間(当該区間)の渋滞損失時間:30万人時間/年                      並行区間(当該区間)の渋滞損失削減率:約3割削減</p>
物流効率化の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 国際戦略港湾、国際拠点港湾、重要港湾へのアクセス向上が見込まれる</li> <li><input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上</li> </ul>	-
1. 活力 都市の再生	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISD規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する</li> <li><input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である</li> <li><input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する</li> <li><input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり</li> <li><input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である</li> <li><input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km<sup>2</sup>以下である市街地内での事業である</li> <li><input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する</li> <li><input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる</li> </ul>	-



(再評価)

様式-2

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道41号	大沢野富山南道路	L=12.0km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
8,000~26,100	2,4	北陸地方整備局

### ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和3年度		
単純合計	350億円	205億円	554億円
うち残事業分	288億円	205億円	492億円
基準年における 現在価値 (C)	299億円	62億円	361億円
うち残事業分	233億円	62億円	294億円

### ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和3年度			
供用年	令和13年度			
単年便益 (初年便益)	37億円	7.3億円	2.6億円	46億円
基準年における 現在価値 (B)	481億円	96億円	34億円	610億円
うち残事業分	481億円	96億円	34億円	610億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.7
経済的純現在価値（事業全体）	250億円
経済的内部収益率（事業全体）	7.2%
費用便益比（残事業）	2.1
経済的純現在価値（残事業）	316億円
経済的内部収益率（残事業）	9.3%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	8,000～26,100	±10%	1.5 ～ 1.8
事業費	350億円	±10%	1.6 ～ 1.8
事業期間	17年	±20%	1.5 ～ 1.9

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	8,000～26,100	±10%	1.9 ～ 2.3
事業費	288億円	±10%	1.9 ～ 2.3
事業期間	9年	±20%	1.9 ～ 2.2

## 交通状況の変化

様式-3①

### 事業名：一般国道41号大沢野富山南道路（事業全体、残事業）

（推計時点 R12 年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [大沢野富山南道路] : 12.0km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	—	14,500	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	—	12	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	—	32.54	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	①国道41号: 10.8km	交通量	[台/日]	8,700	4,700
		走行時間	[分]	19	16
		走行時間費用	[億円/年]	31.30	14.38
	②(主)富山笹津線: 8.8km	交通量	[台/日]	5,900	1,200
		走行時間	[分]	15	13
		走行時間費用	[億円/年]	16.94	2.85
	③(一)笹津安養寺線(旧道): 7.1km	交通量	[台/日]	4,300	1,700
		走行時間	[分]	13	12
		走行時間費用	[億円/年]	9.98	3.55
	④(一)笹津安養寺線(新道): 3.6km	交通量	[台/日]	3,500	2,000
		走行時間	[分]	6	5
		走行時間費用	[億円/年]	3.84	1.95
	⑤(主)富山大沢野線: 8.4km	交通量	[台/日]	6,900	4,400
		走行時間	[分]	15	13
		走行時間費用	[億円/年]	19.13	10.70
③その他道路合計: : 1,330.0km	走行時間費用	[億円/年]	2,027.01	2,005.42	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 1,380.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,108.20	2,071.39	36.81

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

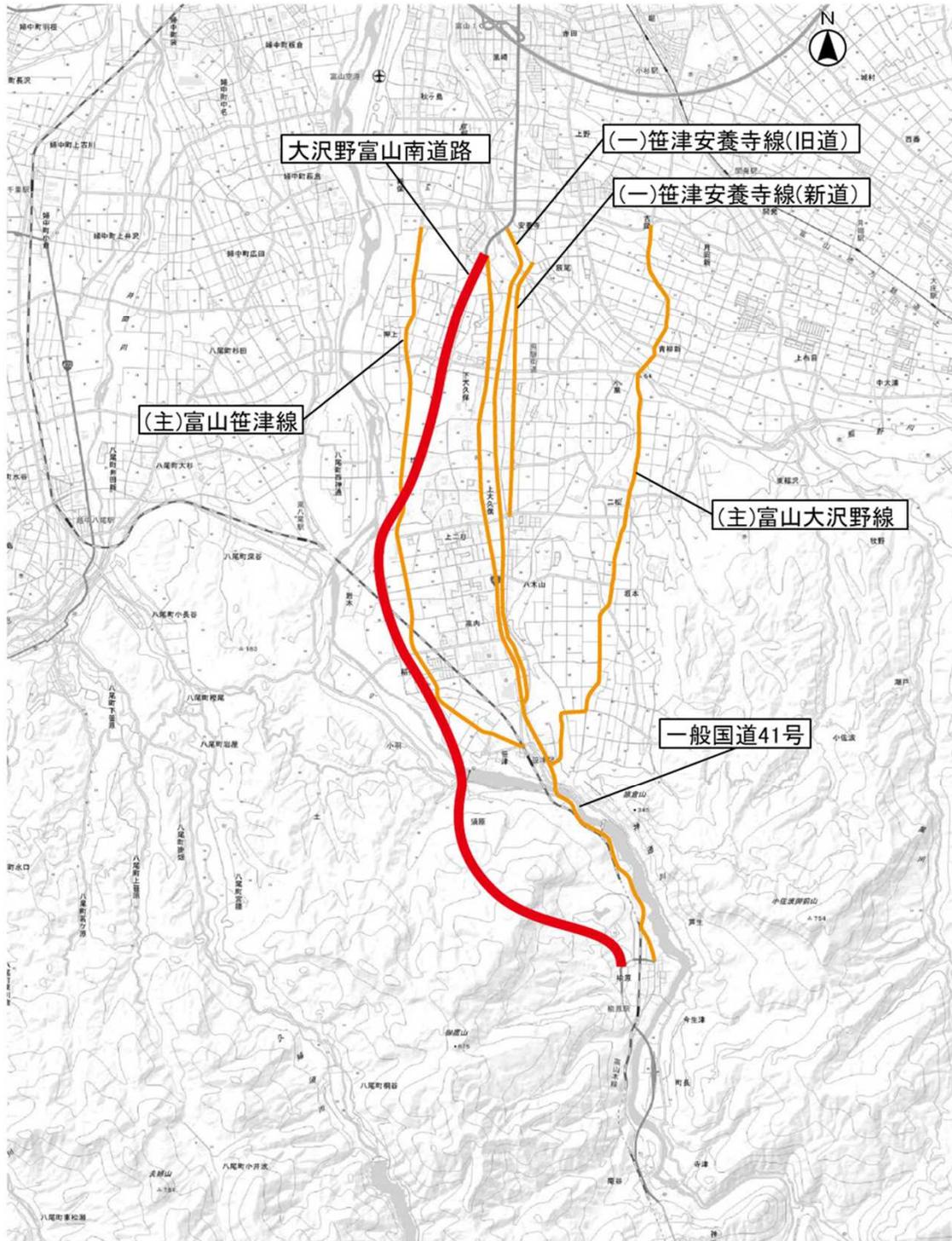
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



## 費用便益分析の条件

事業名:一般国道41号 大沢野富山南道路(事業全体、残事業)

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和3年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> ( H22センサス )
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他( )	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ( )台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他( )
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他(最終配分でQ <sub>0</sub> を超える場合、実速度に照合し設定)	<input checked="" type="checkbox"/>

事業名：一般国道41号 大沢野富山南道路(事業全体、残事業)

(3)

		項目	チェック欄	
便 益 の 算 定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		( ) %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載 降雪が最初に観測された日から最後に観測された日までの冬期日数(114日)及び降雪日数(62日)を考慮	(114) 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載 通常期と冬期の速度比(降雪時10%低下、降雪時以外4%低下)を考慮	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ( )	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名：一般国道41号 大沢野富山南道路(事業全体、残事業)

(4)

		項目	チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>	
		その他(概略事業計画による値を採用)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
			考慮する	<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
			当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)	
その他				
4. その他				
上記のほか、B/Cの算定にあたっての問題点があれば、記述。				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

## 費用の現在価値算定表

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名:一般国道41号 大沢野富山南道路(事業全体)				単価(億円)		単純単価(億円)	
				0.375	12.0	4.50	
年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-17年目	H 26	1.3159	98.7	0.93	1.25		
-16年目	H 27	1.2653	100.2	2.22	2.84		
-15年目	H 28	1.2167	100.3	4.63	5.68		
-14年目	H 29	1.1699	100.5	6.48	7.64		
-13年目	H 30	1.1249	100.4	6.56	7.43		
-12年目	R 1	1.0816	101.2	10.28	11.12		
-11年目	R 2	1.0400	101.2	16.68	17.34		
-10年目	R 3	1.0000	101.2	14.23	14.23		
-9年目	R 4	0.9615	101.2	18.78	18.06		
-8年目	R 5	0.9246	101.2	31.56	29.18		
-7年目	R 6	0.8890	101.2	32.83	29.18		
-6年目	R 7	0.8548	101.2	32.93	28.14		
-5年目	R 8	0.8219	101.2	34.39	28.26		
-4年目	R 9	0.7903	101.2	35.36	27.95		
-3年目	R 10	0.7599	101.2	39.32	29.88		
-2年目	R 11	0.7307	101.2	34.77	25.41		
-1年目	R 12	0.7026	101.2	27.82	19.55		
供用開始年次	R 13	0.6756	101.2			4.09	2.76
1年目	R 14	0.6496	101.2			4.09	2.66
2年目	R 15	0.6246	101.2			4.09	2.56
3年目	R 16	0.6006	101.2			4.09	2.46
4年目	R 17	0.5775	101.2			4.09	2.36
5年目	R 18	0.5553	101.2			4.09	2.27
6年目	R 19	0.5339	101.2			4.09	2.18
7年目	R 20	0.5134	101.2			4.09	2.10
8年目	R 21	0.4936	101.2			4.09	2.02
9年目	R 22	0.4746	101.2			4.09	1.94
10年目	R 23	0.4564	101.2			4.09	1.87
11年目	R 24	0.4388	101.2			4.09	1.80
12年目	R 25	0.4220	101.2			4.09	1.73
13年目	R 26	0.4057	101.2			4.09	1.66
14年目	R 27	0.3901	101.2			4.09	1.60
15年目	R 28	0.3751	101.2			4.09	1.53
16年目	R 29	0.3607	101.2			4.09	1.48
17年目	R 30	0.3468	101.2			4.09	1.42
18年目	R 31	0.3335	101.2			4.09	1.36
19年目	R 32	0.3207	101.2			4.09	1.31
20年目	R 33	0.3083	101.2			4.09	1.26
21年目	R 34	0.2965	101.2			4.09	1.21
22年目	R 35	0.2851	101.2			4.09	1.17
23年目	R 36	0.2741	101.2			4.09	1.12
24年目	R 37	0.2636	101.2			4.09	1.08
25年目	R 38	0.2534	101.2			4.09	1.04
26年目	R 39	0.2437	101.2			4.09	1.00
27年目	R 40	0.2343	101.2			4.09	0.96
28年目	R 41	0.2253	101.2			4.09	0.92
29年目	R 42	0.2166	101.2			4.09	0.89
30年目	R 43	0.2083	101.2			4.09	0.85
31年目	R 44	0.2003	101.2			4.09	0.82
32年目	R 45	0.1926	101.2			4.09	0.79
33年目	R 46	0.1852	101.2			4.09	0.76
34年目	R 47	0.1780	101.2			4.09	0.73
35年目	R 48	0.1712	101.2			4.09	0.70
36年目	R 49	0.1646	101.2			4.09	0.67
37年目	R 50	0.1583	101.2			4.09	0.65
38年目	R 51	0.1522	101.2			4.09	0.62
39年目	R 52	0.1463	101.2			4.09	0.60
40年目	R 53	0.1407	101.2			4.09	0.58
41年目	R 54	0.1353	101.2			4.09	0.55
42年目	R 55	0.1301	101.2			4.09	0.53
43年目	R 56	0.1251	101.2			4.09	0.51
44年目	R 57	0.1203	101.2			4.09	0.49
45年目	R 58	0.1157	101.2			4.09	0.47
46年目	R 59	0.1112	101.2			4.09	0.45
47年目	R 60	0.1069	101.2			4.09	0.44
48年目	R 61	0.1028	101.2			4.09	0.42
49年目	R 62	0.0989	101.2	-43.25	-4.28	4.09	0.40
合計				306.50	298.86	204.55	61.75
単純事業費計				349.75		204.55	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名:一般国道41号 大沢野富山南道路(残事業)				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.375	12.0	4.50	
年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-9年目	R 4	0.9615	101.2	18.78	18.06		
-8年目	R 5	0.9246	101.2	31.56	29.18		
-7年目	R 6	0.8890	101.2	32.83	29.18		
-6年目	R 7	0.8548	101.2	32.93	28.14		
-5年目	R 8	0.8219	101.2	34.39	28.26		
-4年目	R 9	0.7903	101.2	35.36	27.95		
-3年目	R 10	0.7599	101.2	39.32	29.88		
-2年目	R 11	0.7307	101.2	34.77	25.41		
-1年目	R 12	0.7026	101.2	27.82	19.55		
供用開始年次	R 13	0.6756	101.2			4.09	2.76
1年目	R 14	0.6496	101.2			4.09	2.66
2年目	R 15	0.6246	101.2			4.09	2.56
3年目	R 16	0.6006	101.2			4.09	2.46
4年目	R 17	0.5775	101.2			4.09	2.36
5年目	R 18	0.5553	101.2			4.09	2.27
6年目	R 19	0.5339	101.2			4.09	2.18
7年目	R 20	0.5134	101.2			4.09	2.10
8年目	R 21	0.4936	101.2			4.09	2.02
9年目	R 22	0.4746	101.2			4.09	1.94
10年目	R 23	0.4564	101.2			4.09	1.87
11年目	R 24	0.4388	101.2			4.09	1.80
12年目	R 25	0.4220	101.2			4.09	1.73
13年目	R 26	0.4057	101.2			4.09	1.66
14年目	R 27	0.3901	101.2			4.09	1.60
15年目	R 28	0.3751	101.2			4.09	1.53
16年目	R 29	0.3607	101.2			4.09	1.48
17年目	R 30	0.3468	101.2			4.09	1.42
18年目	R 31	0.3335	101.2			4.09	1.36
19年目	R 32	0.3207	101.2			4.09	1.31
20年目	R 33	0.3083	101.2			4.09	1.26
21年目	R 34	0.2965	101.2			4.09	1.21
22年目	R 35	0.2851	101.2			4.09	1.17
23年目	R 36	0.2741	101.2			4.09	1.12
24年目	R 37	0.2636	101.2			4.09	1.08
25年目	R 38	0.2534	101.2			4.09	1.04
26年目	R 39	0.2437	101.2			4.09	1.00
27年目	R 40	0.2343	101.2			4.09	0.96
28年目	R 41	0.2253	101.2			4.09	0.92
29年目	R 42	0.2166	101.2			4.09	0.89
30年目	R 43	0.2083	101.2			4.09	0.85
31年目	R 44	0.2003	101.2			4.09	0.82
32年目	R 45	0.1926	101.2			4.09	0.79
33年目	R 46	0.1852	101.2			4.09	0.76
34年目	R 47	0.1780	101.2			4.09	0.73
35年目	R 48	0.1712	101.2			4.09	0.70
36年目	R 49	0.1646	101.2			4.09	0.67
37年目	R 50	0.1583	101.2			4.09	0.65
38年目	R 51	0.1522	101.2			4.09	0.62
39年目	R 52	0.1463	101.2			4.09	0.60
40年目	R 53	0.1407	101.2			4.09	0.58
41年目	R 54	0.1353	101.2			4.09	0.55
42年目	R 55	0.1301	101.2			4.09	0.53
43年目	R 56	0.1251	101.2			4.09	0.51
44年目	R 57	0.1203	101.2			4.09	0.49
45年目	R 58	0.1157	101.2			4.09	0.47
46年目	R 59	0.1112	101.2			4.09	0.45
47年目	R 60	0.1069	101.2			4.09	0.44
48年目	R 61	0.1028	101.2			4.09	0.42
49年目	R 62	0.0989	101.2	-29.26	-2.89	4.09	0.40
合計				258.49	232.71	204.55	61.75
単純事業費計				287.75		204.55	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。



# 参考様式1

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道41号	大沢野富山南道路	2,4	12.0km

## ■事業費内訳【事業全体】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				26,928	
	改良費				4,708	
		土工	m <sup>3</sup>	1,497,992	2,655	
		法面工	m <sup>2</sup>	170,056	173	
		擁壁工	式	1	548	
		函渠工	m	410	544	
		排水工	m	38,770	492	
		中央分離帯工	式	1	296	
	橋梁費				5,721	
		100m以上	m	500	3,014	1箇所(2号橋)
		100m未満	m	319	2,707	6橋
	トンネル費				10,470	
		NATM	m	3,095	10,470	
	IC・JCT費				4,120	
		IC	箇所	5	4,120	
	舗装費				1,382	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	141,533	1,382	本線、ランプ、県道、取付道、側道
	付帯施設費				527	
		交通管理施設工	式	1	486	標識、照明、縁石、通信管路
		遮音壁	m	400	41	
②	用地及補償費				5,630	
	用地費		m <sup>2</sup>	378,072	4,325	
		宅地	m <sup>2</sup>	27,187	816	
		田畑	m <sup>2</sup>	350,885	3,509	
	補償費		戸	96	1,305	
		家屋	戸	55	1,100	
		非家屋	戸	41	205	
③	間接経費		式	1	5,442	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				38,000	

### 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近隣事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近隣事業箇所の直近実績単価を使用

# 参考様式1

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道41号	大沢野富山南道路	2,4	12.0km

## ■事業費内訳【残事業】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				26,006	
	改良費				4,082	
		土工	m <sup>3</sup>	1,421,032	2,455	
		法面工	m <sup>2</sup>	170,056	173	
		擁壁工	式	1	548	
		函渠工	m	299	170	
		排水工	m	37,645	440	
		中央分離帯工	m	1	296	
	橋梁費				5,621	
		100m以上	m	500	3,014	1箇所(2号橋)
		100m未満	m	319	2,607	6橋
	トンネル費				10,470	
		NATM	m	3,095	10,470	
	IC・JCT費				4,020	
		IC	箇所	5	4,020	
	舗装費				1,327	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	136,423	1,327	本線、ランプ、県道、取付道、側道
	付帯施設費				486	
		交通管理施設工	式	1	486	標識、照明、縁石、通信管路
		遮音壁	m	400	41	
②	用地及補償費				3,510	
	用地費		m <sup>2</sup>	343,369	2,926	
		宅地	m <sup>2</sup>	9,368	324	
		田畑	m <sup>2</sup>	233,367	2,602	
	補償費		戸	77	584	
		家屋	戸	41	580	
		非家屋	戸	4	4	
③	間接経費		式	1	1,844	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				31,360	

### 【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近隣事業箇所の実績単価を使用する
- 用地補償費算出にあたっては、近隣事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道41号	大沢野富山南道路	2,4	12.0km

### ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	12.0	5,200	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	17,300	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			22,500	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。